

教育

泣き虫教師

天職という言葉がある。私は教員という仕事で、自分の適職であったのかどうか未だに判らないでいる。四十年以上も白墨を手にしながら、正直な想いなのである。

新前教員の頃、先輩たちが自信にあふれ、喜びさえ放って授業に行く姿を羨ましくも不思議な思いで見えていた。つまり、私には教科指導に自信が無く、子供の頃からの対人恐怖症も手伝って、人間が沢山集まっている教室が怖かったのである。どんなに教材研究をしても、それを伝えるのが精一杯で、「教科書を教える」ことは出来ても「教科書で教える」ことは出来なかった。

当時の生徒は、今ではすでに職場を定年退職している年齢であるが、不平も云わず熱心に私の拙い講義を聴いてくれた。未だに頂く年賀状は、赤面を伴って往時を彷彿とさせる。ほうかつ最初の職場は母校の定時制夜間部であったが、この頃の夜間部生はいわゆる苦学生の集団で、学問に対しての渴望は砂漠への驟雨しゅううのようであった。私はここでこの七年間で生徒に鍛えられ育てられたのであった。すばらしい先輩方にも恵まれ、少しずつ教員になっていった。

教員には転勤というものがある。私は十一の職場を経験した。つ

まり十一回、後ろ髪引かれる感傷を体験したのである。私は涙もろく別れの時はいつも涙をこぼしたものだ。それぞれの学校は目標もねらいも違っていたが、天の悪戯いたずらは、教員生活の大部分を進学校という、私には不似合いな職場を与えた。始めはもつと勉強せよとの叱咤しつたかなと思っていたが、現実には預かった生徒諸君を三年間で自分にも手の届かなかった大学に合格させなければならぬ責務が付いて来たのだから、迷っている暇などは無かったと言うのが正直なところであった。自分自身が受験生にならなければならなかったのである。問題集に取り組む日々が続いた。幸か不幸か私は全十クルスの漢文の担当となった。ここで大学時代の恩師、高木市之助教授の講義に助けられた。しかも、共通一次の国語の漢文の問題は二百点満点中五十点を占めていたのである。漢文は基本さえ身に付ければ四十点以上は採れる。

しかも、がむしゃらは奇しくも私にあらたな潤滑油を注いでくれた。真夜中までの下調べが楽しくてならなくなり、睡眠時間は平均五時間、正解が出ると夜中に小躍りした。若さも後押しをしてくれたのだ。授業は年休、出張の先生の方まで頂いて持ち時間の倍をこなした。真剣での授業は何よりの戦場であり、正解までの道筋は教

員生命の命の分かれ道だったからである。一年分の教科書が九ヶ月で終わってしまい、教科書不掲載の文庫本で授業を行ったこともある。この時の教材は吉野せいさんの「涙をたらしした神」と「梨花」だったが、この作品に私は感動し滂沱ほうたの涙で授業を進めることができなくなるほどだった。私はいつも泣いてばかりいたのである。後日、その作品が大学入試に出題され、伝説は一人歩きして古希を目の前にして三十年振りに復活授業まで要請されることになったのは驚かされた。

私より遥かに地位も人間性も成長したおやじ連雪時F高は男子校だったを一瞥して、私は「立派になりましたね」が始めの挨拶だった。講義内容は「漢文の古典」からだったと記憶するが、九十分の講義はこの場合あまりにも短すぎた。

思えば波乱万丈の不思議な教員人生であったと思う。教員にも生徒との出会いがある。これも自分が望んでのことではない。やはり天の仕業としか思えない。S高、F高、A高は県の中央部を三学区に区切ったそれぞれに名門校といわれる学校だった。生徒の講義の受け方が教員を目覚めさせたのかも知れない。

それぞれの学校の卒業生たちは多く、政界、医師、大学教授、社

長となって活躍中である。いま仮に会話をしても元教員などは次元が違って笑われるかも知れない。それでも時に訪ねて来たり、便りを頂くのは嬉しい。

私に幸運を齎^{もたら}してくれた天運に感謝する意味で、未だにボランティアで週一回の熟年大学で漢文の講義をしている。講義内容は戦後偶然発見された中国の「明」の時代の「菜根譚」である。著者は洪応明、字を（洪自誠）号を還初同人と云う人が書いたものである。だが詳しい経歴は解っていない。（不思議なことに原版は日本にしかない）内容は儒教、道教、仏教の教えが大部分であるが、「あさかの大学」は講義する人も講義を受ける人もほぼ同年配なので、価値観が合っていて良い教材だと思っている。講義の巧拙内容の良し悪しは人様に評価してもらうしかないが、唯一の貢献は、お互いのボケ防止になっているのではないかと密かに思っていることである。

この活動を続けて考えたことは足腰を鍛えることと同様、新たな知識の獲得は老いを確かに楽しく過ごす秘訣であると確信するようになった。それでも何年か後に待っている別れに私は涙を流すかもしれない。私は涙とは感情が生み出す宝石であると思うことがある。宝石は稀少だから価値があるとは限らない。